



ミチェル・バチェレ氏は国連事務次長であり、2010年7月2日の国連総会にて設立されたUN Womenの初代事務局長である。バチェレ氏の指導のもと、UN Womenは世界、地域、国レベルでのジェンダー平等と女性のエンパワーメントに向けた活動をリード、支援、統合する役割を果たすこととなる。

バチェレ氏は直近では2006年から2010年までチリ大統領を務めた。長年にわたる女性の人権の擁護者で、自身のキャリアを通じて、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを唱道してきた。財政危機の中、年金制度、女性や子供の社会的保護計画、研究開発などの問題に投入するために何十億ドルという資金を確保する決断を下したのは、大統領として氏が残した数々の功績のひとつである。他にも低所得家庭のための無料託児所の数を3倍に増大させ、国全体で3,500カ所にも上る保育所を設立するなど、様々な構想を実行した。

バチェレ氏はまた、チリ政府の国防大臣・厚生大臣を歴任した経験もある。国防大臣としては軍や警察部隊での女性の状況を改善することを目的に、ジェンダー政策を導入した。さらに厚生大臣としては医療改革を行い、家庭医療における対応の改善と迅速化の確保を目指し、プライマリケア施設に対する意識向上に努めた。